



親から子へ、子から孫へ
—読み継がれてきた子どもの本の魅力とその裏側

講師

汐崎 順子 さん



【講師紹介】 1962 年生まれ。1985 年に慶應義塾大学文学部 図書館・情報科学科卒業。慶應義塾幼稚舎図書室を経て 1989 年より 10 年間東京都大田区蒲田駅前図書館、羽田図書館で児童サービスを担当。大田区を 2003 年に退職。その後、慶應義塾大学院文学研究科に進学し 2019 年に博士号取得。現在、慶應義塾大学、早稲田大学等で非常勤講師を勤める。

日時 2022 年 8 月 6 日 (土)
13:30~15:30

新型コロナ感染が始まってこの 2 年数ヶ月の間に、子どもや若者を取り巻く環境は大きく変化しています。特に人間としての基盤を作る幼児期、小中学生の子どもたちへの影響は計り知れないものがあると思われまます。デジタル化は学校でも進み、2024 年度からはデジタル教科書も導入されるということで、学校での授業風景は大きく様変わりしそうです。生身の人間同士の関わりが何より大切と思われる成長期にこれでいいのだろうか、と心配は拭えません。

せめて幼いときに、「読み聞かせ」や「おはなし」を通して子どもにたっぷり豊かな言葉をかけてやりたいと考えます。それは子どもの周りにいる大人の役目です。

今年度は、子どもと本をつなぐための多くの知識とご経験をお持ちの汐崎順子さんをお招きします。多くの方のご参加をお待ちしています。

なお、今回は zoom によるオンライン参加も受け付けます。下記の申込要綱をご覧ください。

- 会場 富士宮市役所 7 階 特大会議室
定員 会場 50 名、オンライン参加 50 人
参加費 無料
対象 富士宮市在住、在勤、在学の人
受付期間 2022 年 7 月 12 日(火)~7 月 27 日(水)
申込受付 社会教育課へ電話をするか、または二次元コードより電子申請も可能です。
(zoom によるオンライン参加希望の方は、二次元コードから電子申請をしてください)
託児有り 10 人まで (おおむね 1 歳以上の未就学児、7/21 までに申込みしてください)

